

平成31年2月21日

保護者 様

倉敷市立連島神亀小学校

校 長 庵 谷 聡

## 学校評価アンケートの結果について

春の足音を感じるころとなりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から、本校教育の推進に対しましてご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

本年度も、学校教育目標「豊かな心とすこやかな体を持ち、たくましく生きる児童の育成」の実現に向けて、保護者の皆様や地域の皆様の協力や支援をいただきながら、教職員で創意工夫をし、学校生活全般を通して子どもたちの教育に取り組んでまいりました。

また、昨年末には1年間を振り返るに当たり学校評価アンケートを実施しましたところ、お忙しい中をご協力いただきありがとうございました。今年度の取組に対する皆様からの評価を参考にさせていただきながら、来年度の連島神亀小学校の教育計画を立て、教育活動や学習環境をより一層よいものにしていきたいと考えております。

なお、報告として、右ページ及び裏面にアンケートの質問項目についての集計結果、考察を載せていますので、ご覧ください。

学校評価 アンケート 1 集計						アンケート回収率		74%
評価内容	A	B	C	D	E	合計点	平均点	昨年度比
1 学校は、授業や行事など教育活動の様子を参観する機会をよく設けている。	69.8%	29.1%	1.1%	0.0%		16,450	91.9	+1.6
2 学校は、地域・保護者の方の協力を得たり、地域を生かした教育をしたりしている。	51.5%	40.8%	7.1%	0.6%		14,175	83.9	+0.8
3 学校は、子どもの安全を考えて、安全指導や施設・設備の整備を行っている。	41.5%	49.7%	8.8%	0.0%		13,850	81.0	-0.7
4 学校は、子どもの教育についての相談や願いに応じ、保護者や地域との意思の疎通を行っている。	35.9%	50.6%	10.6%	2.9%		13,000	76.5	-2.9
5 学校は、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を行っている。	39.0%	55.2%	4.7%	1.2%		14,025	81.5	-0.7
6 学校は、自他の生命や人権を大切に育てようとしている。	42.6%	49.1%	7.7%	0.6%		13,750	81.4	+1.8
7 子どもは、楽しそうに学校へ通っている。	64.2%	30.2%	5.6%	0.0%		15,800	88.3	-0.0
8 子どもは、素直に育っている。	59.6%	37.6%	2.8%	0.0%		15,750	88.5	-0.8
9 子どもは、落ち着いて学習する子に育っている。	38.5%	48.6%	12.8%	0.0%		14,000	78.2	-1.0
10 子どもは、友達と仲よく学校生活を送っている。	55.0%	38.9%	5.6%	0.6%		15,400	85.6	-0.7
11 子どもは、あいさつや返事やお礼が言える子どもに育っている。	37.1%	48.3%	14.0%	0.6%		13,675	76.8	-2.2
12 子どもは、きまりや公衆道徳を守る子どもに育っている。	45.0%	45.6%	8.9%	0.6%		14,650	81.4	-0.1
13 子どもは、家庭学習の習慣を身に付け、計画的に学習している。	32.6%	42.9%	21.7%	2.9%		12,275	70.1	+3.7
14 教職員は、子ども一人ひとりをよく理解し、厳しさと優しさをもって、正しい行動がとれる子に育てようとしている。	39.8%	48.5%	9.9%	1.8%		13,450	78.7	-3.6
15 教員は、子どもが楽しく分かりやすい授業になるように工夫している。	46.4%	47.6%	4.2%	1.8%		13,975	83.2	-0.9
16 教職員は、相談しやすく、保護者との連携をうまく図るよう配慮している。	43.3%	45.0%	9.4%	2.3%		13,575	79.4	-2.6
17 教職員は、子ども間での「いじめ」について、適切に指導している。	40.0%	44.4%	12.6%	3.0%		10,325	76.5	

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない E：分からない

Aを100点、Bを75点、Cを25点、Dを0点とし、それぞれにそれぞれの回答数をかけ、回答合計数で割って平均点を出している。(Eは除外、小数第2位を四捨五入しているため、合計すると100%になっていない項目があります。)

平均点は、上位5項目を緑色、下位5項目をピンクにしています。

昨年度比は、昨年より1点以上増えている項目を緑色、1点以上減っている項目をピンクにしています。

## 学校評価考察

### アンケート 1 から

- すべての項目で、肯定的な評価が多数を占めており、今年度の学校運営について一定の評価を得られ、ありがたく思います。
- 1の項目については、各学期に学校自由参観日を設け、それ以外の日でも保護者が参観できるようにしていることが評価されたのだと思います。また、学校ホームページを継続的に更新し、学校の様子をできるだけリアルタイムに発信していることも評価されているのではないかと感じています。
- 7・8・10の項目については、今年度も自尊感情を育み人権感覚豊かな児童の育成することをめざして人権教育に取り組んでおり、学習場面では、ペアトークやグループトークを行うことで互いの考えのよいところを認め合いながら自信をもつことができるようにしたこと、学習の振り返りで友達の良さを全体に広めたり自分の良さに気付いたりするようにしたことの結果が表れたものと考えています。また生活場面では、あいさつ運動や無言清掃の取組、年2回行っている校内人権週間「なかよし週間」の様々な取組により友達の良さを認め合うことの実験が増え、友達や教職員から褒められることで自分がしていることに自信をもてるようになってきている子どもが増えてきていることが成果につながっていると思います。6の項目も昨年度より評価が向上しています。さらに子どもたちの人権感覚を磨いていけるように、今後も継続して人権教育に取り組んでいきたいです。
- 13の項目は、否定的な評価の割合が他の項目と比べて多いですが、肯定的な評価の伸びが全項目を通して最も大きいです。家庭学習については、岡山県から示されている「子どもが伸びる家庭学習」を配布して保護者の意識向上を促したり、各担任が学年に応じた家庭学習の進め方を継続して指導したりしています。ただ、様々な事情をかかえている子どももあり、個人差も大きく、なかなか難しいところもあります。今後も、保護者へのお願い、個々の児童に応じた指導を繰り返すことで、家庭学習の習慣が身に付くようにしていきたいです。
- 4・14・16の項目の項目については、昨年度より評価がかなり下がっています。いずれも教職員の子どもに対する姿勢や保護者との連携にかかる部分であります。いくつかのいじめ事案への対応の遅れや学級経営上の諸問題があったことへの対応等、もう少し早めの、また子どもの気持ちを考えた対応をすべき事案があったことを反省しています。ほとんどの場合は、小まめな指導を行い、その日にあったことはその日のうちに保護者連絡を取り、保護者との連携を密にするように努めていますが、一つでも上記のような事案があると信頼関係はすぐに壊れてしまいます。今後とも慣れや経験に頼ることなく、一人ひとりの子どもの様子をしっかりと観察して適切な指導を行い、保護者とも密な連携が取れるようにしていきたいと思います。
- 11の項目については評価の分かれる項目で、昨年度より平均点は下がっているものの、アンケート2ではあいさつがよくなるようになったという意見も多数出ています。(同時に、あいさつがなかなかできないという意見も多数ありますが・・・)学校では、学校での生活について「あいさつ」「廊下を正しく歩く」「靴そろえ」「無言清掃」を4つの柱にして指導に取り組んでいます。児童会代表委員会を中心に「だれとでも」「大きな声で」「笑顔いっぱい」あいさつができる子どもをめざして、「あいさつ運動」を毎月行っていますが、保護者や地域とも連携を図りながら、進んであいさつできる子どもを増やしていけるように、今後も継続してあいさつについての指導に取り組んでいきたいです。

- ・ 昨年度は平均点が前年度より下がった項目が2項目だったのが、今年度は11項目に増えています。ほとんどの項目は微減ではあるものの、それぞれに要因はあると思います。前年度と同じことをするのではなく、子どもの気持ちや保護者の願いを考慮し、よりよい取組が行えるよう気持ちを新たにし、新しい要素を加えて学習や行事、生徒指導に当たっていきけるようにしたいと思います。

## アンケート2から

- ・ あいさつについては、「よいところ（よくなったところ）」と「悪いところ（指導が必要だと感じる場所）」の両方に多数の意見が出ています。あいさつについては、生活指導上の一つの柱にして、年度初め・終わりに時間をとって全校児童に指導したり、日々機会に応じて指導したり、毎月第2週に学年ごとに校門に立ち「あいさつ運動」を行ったり、また児童会で「あいさつ名人」を表彰したりするなど、指導を継続したり子どもたちを称揚したりすることで、あいさつがよくなるような子どもが育ってきていると感じています。このことは、地域ボランティアとして学校に様々な支援で来てくださっている方からも同様なお言葉をいただいております。うれしく思っています。しかし、子どもによって差もあり、交通当番で立ってくださっている保護者の方にあいさつができなかったり、あいさつをしても応答がなかったり、下を向いたままだったりする子どももいます。そのあたりがよいところ・悪いところの両方に意見が出ている原因だと考えられます。今後も、あいさつについて保護者へのお願い、児童への指導・称揚を継続して行うことで、少しずつでも改善していくように取り組んでいきたいです。
- ・ 「元気がよい」「素直」「なかよし」というキーワードで括れる意見も多かったです。兄弟学年での活動（なかよし活動・ペア遊び・ペア給食・ペア読書）等異学年交流を多く取り入れ、上級生としての自覚と自信の向上を図っていることや業間時間は原則として外で遊ぶように指導していることなどが功を奏していると思います。「下の子のめんどうをよく見ている」や「男女関係なくなかよく遊べる」等のよい意見も多かったです。校外での遊び方や大人の目が届かないところでの遊び方など悪いところとしても意見が挙がっています。子どもからの情報を早めに捉えることができるように情報収集の仕方を改善し、いじめにつながらないように指導していききたいと思います。また、子どもたちが素直であれば指導も入りやすいと考えられるので、この良さを生かして今後も取り組んでいききたいと思います。
- ・ 悪いところでは、「交通マナー」と「言葉づかい」の悪さについての意見がたくさんありました。「交通マナー」については、普段から様々な機会をとらえて指導を繰り返したり、交通安全教室を行って交通事故の恐ろしさや安全な自転車の乗り方等について学習したり、登校指導や下校指導も繰り返し行ったりしています。特に自転車の乗り方マナーの悪さを指摘する意見が多かったので、保護者との連携を図りながら、今後も継続して指導していききたいと思います。「言葉づかい」については、子ども同士のトラブルの原因となることも多く、たいへん気になる部分であります。日頃から学習・生活場面を通して、話す相手に対して気持ちのよい言葉づかいができるように指導を進めるとともに、保護者とも連携して正しい言葉づかいが身に付くようにしていききたいと思います。

## アンケート3から

- ・ 様々な意見があり集約することは難しいですが、我々が力づけられる意見、今後改善していく手がかりになる意見が多く、たいへん参考になりました。学校現場でできること、保護者に伝えてお願いすること、教育委員会や他の関係諸機関に依頼すること等、検討をして取り組んでいききたいと思います。